

平成26年度第2回産業衛生技術部会幹事会 資料

日時：2014年9月25日(木) 13時～14時

場所：金沢市文化ホール 2階 大集会室

1. 今般の当部会関係行事について

産業衛生技術部会主催行事

2014年9月25日(木) 午後、金沢市文化ホール(石川県金沢市高岡町15-1) 2階 大集会室

13:00～14:00 産業衛生技術部会幹事会

14:00～16:00 第19回産業衛生技術専門研修会「職業アレルギー」

座長：佐藤 一博(福井大学)、谷井 秀治(金沢大学)

1. 職域における感作性物質の分類と代替法：佐藤 一博(福井大学)
2. 職業性接触皮膚炎：皆本 景子(熊本大学)
3. 職業性喘息：土橋 邦生(群馬大学)

16:00～19:00 第23回産業衛生技術部会大会「化学物質のリスクアセスメントの実際」

1. 改正労働安全衛生法(化学物質に係るリスクアセスメントの義務化)について：
増岡 宗一郎(厚労省 安全衛生部化学物質対策課)
2. コントロールバンディング：山田 憲一(中災防 労働衛生調査分析センター)
3. リスクアセスメントにおける簡易測定：村田 克(早稲田大学)

第24回産業医・産業看護全国協議会内行事

・4部会合同セミナー

9/24(水)：文化ホール3階 5,6会議室

(11:30～実行委員会、) 12:30～説明、13時～職場巡視、15～19時ワークショップ

9/25(木)：文化ホール2階 大集会室

10～12時 開会式、プレゼンテーション

・リレーワークショップ

9/26(金) 14:30～16:30：文化ホール2階 大集会室

・シンポジウム3 「衛生管理者1名の事業所でもできる有害物管理」

9/27(土) 10:00-12:00：文化ホール2階 大集会室

座長：田畑 正司(石川県予防医学協会)、村田 克(早稲田大学)

1. 過去の事例から学ぶ：久永 直見(愛知学泉大学)
2. 作業環境測定結果をどう使うか：田村 三樹夫(一般財団法人 上越環境科学センター)
3. 化学物質の管理：三浦 隆(ボッシュ・レックスロス株式会社HSE部)

2. 産業衛生技術部会の「産業医・産業看護全国協議会」共催のための条件案

- ・産業衛生技術部会大会(産業衛生技術シンポジウム)を別途、部会単独の開催
(衛生管理者等を対象に無料開催の予定。また4部会合同企画行事は従来通り共同開催)
- ・春の学会との区別や名称変更の検討

3. 来年春の学会（大阪）における部会行事案

- ・ 第20回産業衛生技術専門研修会：地元企業の労働衛生管理の実際
- ・ 産業衛生技術フォーラム：個人ばく露測定によるリスクアセスメント
（個人ばく露測定に関する委員会報告）
- ・ 部会幹事会および総会

（第88回日本産業衛生学会 <http://convention.jtbcom.co.jp/js088/index.htm>

会期：2015年5月13日（水）～16日（土）

会場：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル =大阪・梅田駅前

企画運営委員長：車谷典男・奈良県立医科大学地域健康医学講座教授

メインテーマ：Quality of Working Life ―グローバル化と労働形態多様化の中での展望―

4. 個人ばく露測定に関する委員会報告について

来月11日開催の学会理事会へ提出 → 産衛誌への連載、報告会のシリーズ開催を予定（来年）

5. 次年度事業予算案（別紙）および事業計画案について

平成27年度産業衛生技術部会事業計画案（部会長：加藤 隆康）

1. 産業衛生技術フォーラムおよび第20回産業衛生技術専門研修会を第88回日本産業衛生学会（大阪市）において開催する。
2. 第25回産業医・産業看護全国協議会（周南市）を他部会と共同で開催する。
3. 部会総会を第88回日本産業衛生学会（大阪市）において開催する。
4. 部会幹事会を第88回日本産業衛生学会（大阪市）および秋季に開催する。
5. 他の部会と協働して合同行事を開催する。
6. 各地方会と協働して産業衛生技術に関する研修会を開催する。
7. 産業衛生技術部会奨励賞の候補者を選考し、該当者を表彰する。
8. 6委員会の活動を行う。
(1) 企画運営委員会 (2) 教育研修委員会 (3) 広報委員会 (4) 企業安全衛生グループとの交流委員会 (5) 表彰委員会 (6) 4部会コラボレーティング委員会

6. 中明賞（産業衛生技術部会奨励賞）候補者推薦について

7. その他